みま～もくん

地域力を
ともに築きましょう！

みま～もくん

東京社会福祉士会 共通基盤 地域支援研修



大田区の人口統計　　（　）内大阪府吹田市

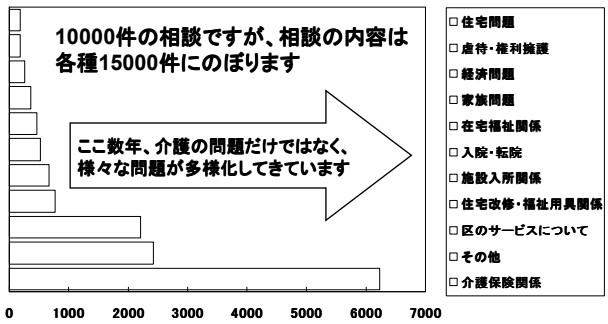
・総人口　：　693．404人　（387．334人）
・高齢者人口　：　140．331人　（61．973人）
・高齢者人口割合：　20．2%　（16．1%）

地域包括支援センター

・区内：20ヶ所　　（愛称）さわやかサポート

・職員数　：　5人　介護予防作成プラン件数190件

大田区内20カ所の地域包括支援センターで
1ヶ月10000件の相談に対応しています。



2025年を目標に・・・

地域包括ケアの方向性と、その姿を実現するため
解決すべき課題の検討

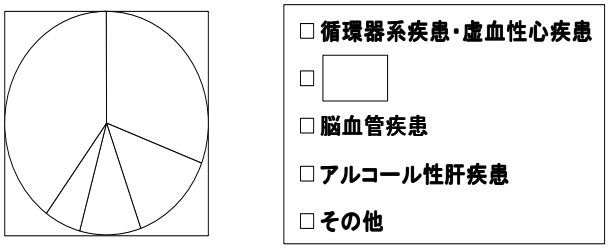
2025年とは？？？

・65歳以上人口が3，600万人（全人口の30%）
H22年現在　2，822万人（全人口の22,8%）

・戦後のベビーブーム世代（団塊の世代）が75歳以上高齢に到達する年。
多様な価値観とはっきりした権利意識を持ち、戦後の経済成長の中で生活してきた方たち→「新しい高齢者」
高齢者像が一層多様化していく。

・人口が横ばいだが、75歳以上人口が急増する大都市部
人口も75歳人口も減少する町村部

平成18年東京都ひとり暮らし高齢者死因別割合



平成18年、東京都における孤独死の人数
4896名。
※　うち男性3．379人、女性1．517人
※　65歳以上の高齢者が53%
↓
※　40～64歳が37%（うち男性が87%）
中高年の男性に広がっている。

今、我が国で、地域で何が起きているのでしょう・・・？

NHK「首都圏ネットワーク」放送　10月9日特集

都会で暮らす
お年寄りの現実　大森

Aさん89歳　女性

一人暮らし。
認知症があるケース。自らはSOSを出せない。
第三者が金銭詐取の形跡あり。

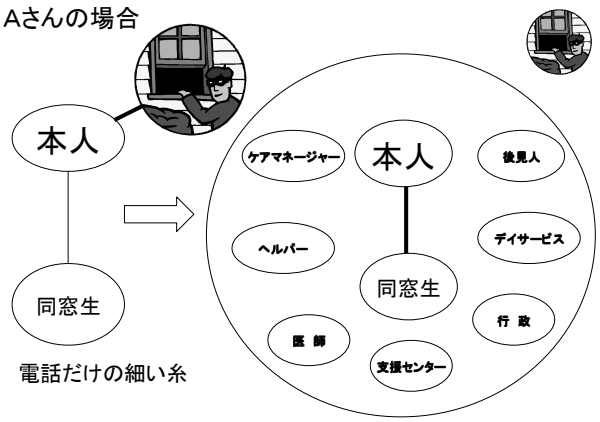
手をさしのべたのは・・・　**高校時代の同窓生、電話だけのつながり。**

Bさん86歳　女性

一人暮らし。
認知症があるケース。自らはSOSを出せない。
被害妄想があり、孤立→閉じこもり。
脱水と栄養失調により入院。

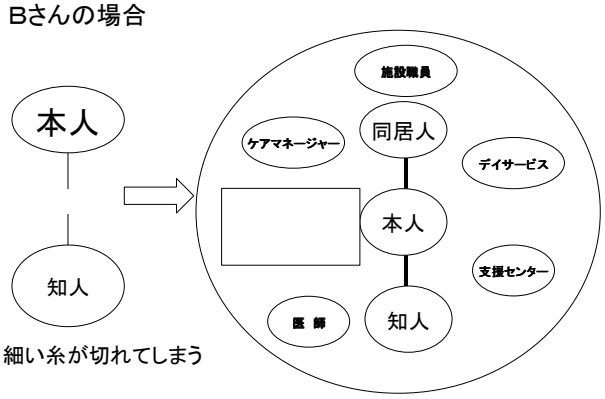
手をさしのべたのは・・・　**地域活動をしていた頃の元議員さんの奥さん。**

Aさんの場合



電話だけの細い糸

Bさんの場合



細い糸が切れてしまう

私たちが関わる大都市部地域社会のこれからは、

「一人暮らしで90歳で認知症」

というケースがごく普通にあり得る。

平成18年4月介護保険法改正に伴い「地域包括支援センター」創設

心身の状態に合わせた健康維持（介護予防）
保険・医療・福祉の向上
虐待・財産管理

総合的な支援とマネジメントを行い、課題に向けた取り組みを実践する包括的な拠点

ともすれば、抽出されたハイリスク高齢者に対し、
既定のサービスを高齢者にもぐら叩き的に提供する
個別対応に終始しがち。
しかしそれでは、今後なだれ的に押し寄せてくる
大都市部の高齢化に、そして、多問題を抱える
多数の個別ケースに対応できなくなるのは明らか！

総合的・包括的な支援とマネジメントを果たしたことにはならない。

おおた高齢者
見守りネットワーク
代表　中村さん



**澤登さんが
本気なら、俺も
力を出すよ！！**

平成20年1月「大田北高齢者見守りネットワークをつくる会」発足！



発足当時
15名からのスタート

包括支援センター2
事業所4
企業1





現　在

後　援

大田区・大田区社会福祉協議会・ 社団法人東京社会福祉士会・おおた社会福祉士会
社団法人 大森医師会 ・ 大森歯科医師会
社団法人蒲田医師会 ・ 蒲田歯科医師会 ・ 蒲田薬剤師会 ・ 地域力推進六郷地区委員会

協賛病院　4	協賛医療・介護事業所　30	協賛企業　5
協賛施設　4	協力包括支援センター　8	協力企業団体2

高齢者見守りネットワークの代表的な例とその問題点

行政主体によるトップダウン方式で包括を周知させ、地域からの通報を促していく。

⇩

他職種と地域住民の横のつながりがないため、地域包括支援センターの負担が増大。

地域包括支援センターが連携やネットワークの構築まで手が回らない。

「見守る人」を募り、「見守られたい人」への定期訪問を実施。

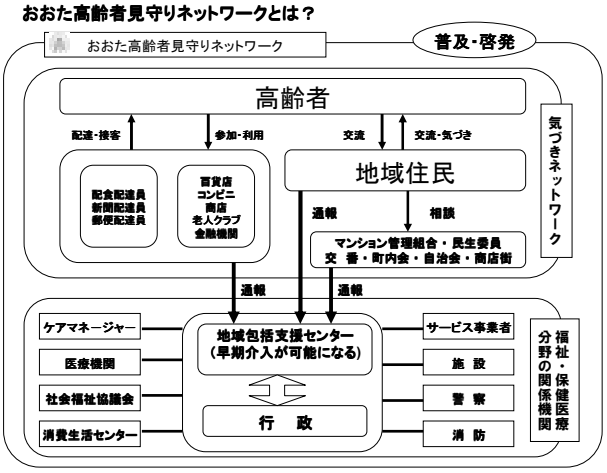
⇩

見守っていただくボランティアは集まるが、見守られたいと手を挙げる人がいない。

見守りが本当に必要な人は、自分では手を挙げられずにいる人。

自分では手を挙げられずにいる人・・・。この人たちに早期に気づいて、専門職種につなげていく活動が、今、求められています！！

おおた高齢者見守りネットワークとは？



**おおた高齢者見守りネットワーク
活動の３本柱！**

**①
地域づくりセミナー**



地域づくりセミナー開催予定

日 付	テーマ	講 師
5月16日（土）	住んで良かったと思える大田区に！	大田区保健福祉部長　　中山　政昭
6月20日（土）	医療の安心 ～今から備えておけること～	牧田総合病院医療ソーシャルワーカー　山名　友紀子
7月18日（土）	住み慣れた地域で暮らし続けるために ～今から備えておけること～	地域包括支援センター　澤登　久雄
9月19日（土）	健康はお口から・・・	新谷歯科医院 院長 新谷 裕和 日本レストランエンタープライズ 佐藤 仁美
10月17日（土）	高齢者の救急搬送について	大森消防署警防課救急技術担当　野崎　明　係長
11月21日（土）	消費者被害にだまされない！！	大森警察署生活安全課防犯係　　甲斐　博憲　係長
12月19日（土）	老いじたくいろいろ	社会福祉士　　中村一孝
平成23年1月16日(土)	いざというときの施設選び	（株）ベネッセスタイルケア　松井　秀夫
2月27日（土）	認知症の人と歩む町に！ ～正しい理解と音楽と笑顔～	こだまクリニック 院長 木之下 徹 先生 うたごえ喫茶ともしび

特別地域づくりセミナー

認知症セミナー「 認知症の人と歩む町に ！」

会場：エセナおおた　大ホール　日時：平成２２年２月２７日（土）１４：００～１６：００





おおた高齢者見守りネットワーク活動の３本柱！

②

みま～もレストラン



私たちの住む大都市の高齢者の特徴

・独り暮らし、または高齢者のみの世帯が多い。

・集合住宅で暮らす高齢者が多い。

・会社勤めで、職場と生活の場が別の方が多い。

⇩

近所付き合いや、人間関係が希薄な傾向にある。

⇕

一方では、周りに多くの人がいるという強みもある。

ある年齢になると誰にでも訪れる出来事が、
社会的孤立のきっかけになる。

たとえば、

・仕事を退職する



・子供が独立する



↓

会社・学校・地域との関わりがなくなり、人と関わる必然性がなくなる。

↓

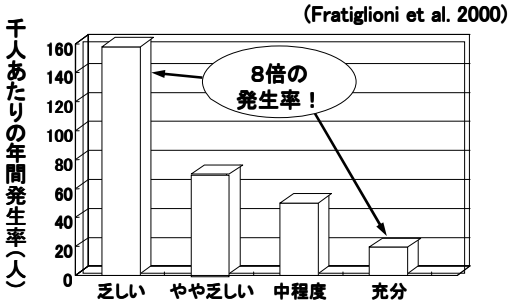
自分で意識的に関わりを持たなければ、容易に孤立してしまう。

⇩

高齢者は社会的に孤立しやすい。

認知症の発生率と社会的つながり

(Fratiglioni et al. 2000)



私たちが目指すのは、地域に孤立した高齢者をつくらないこと！

キーワードは、「社会参加」

⇩

何歳になっても、持病があっても、１人で外出できなくても、その人なりの社会参加の方法がある。



一つの施設よりも、
多くの場 （コミュニティー）づくり！

・地域の茶の間づくり

・会食会、調理クラブ

・青空将棋・麻雀・囲碁クラブ

・山登り同好会
などなど・・・何でもいいんです。

「行ってみたい、行ってみるか」と思う場が必要なんです！

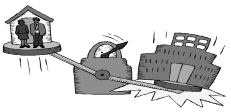
歩いていける距離、地域に場をつくりましょう！













みまへもレストランへ

～ようこそ！～

会場 ： 介護付有料老人ホーム
NRE大森弥生ハイツ
毎月第３木曜日 10:30～13:30

参加費
2,000円（1回）

<送迎バス出発時刻>
集合時間 10:00
行き・・ 10:00-10:15
さわやかサポート入新井 出発
帰り・・ 13:30-13:45
NRE大森弥生ハイツ 出発



日 時	食事メニュー	体験講座メニュー
4月15日 木	新みまーもレストラン花見弁当	正しく声を出そう！ ヴォイストレーニング講師 MASAMI
5月20日 木	手巻き寿司	アロマセラピー ソフィスト 稲葉 麻里 先生
6月17日 木	精進料理	メイクアップ教室 カネボウ
7月15日 木	流しそうめん BBQ	絵手紙 金子 比佐子先生
8月19日 木	沖縄料理を堪能しよう！	三線コンサート 照屋 寛正先生
9月22日 水	敬老膳 いつまでも元気で！	牧田中医クリニック 植松 秀彰 先生
10月21日 木	ソフト食を食べてみよう！	デジカメを使って写してみよう！ 澤登 久雄 所長
11月18日 木	みんなで囲むあつあつ鍋	陶芸 ギャラリー天 天明先生
12月16日 木	クリスマス会	カラーセラピー 中屋 映子先生
1月20日 木	ハーブと暮らす、そして食事	100均で作る小物
2月17日 木	いちご狩り 自分のイメージする作りたいケーキ作り	調理実習
3月17日 木	1年間ありがとう会	㊙ お楽しみ企画



おおた高齢者見守りネットワーク活動の３本柱！

③
SOSみま～もキーホルダー登録システム





平成21年8月1日申請開始！
大森地区で現在登録者1200名



平成22年6月以降、六郷地区スタート！！
現在登録者500名！
12月より、田園調布地区でも申請開始！

SOSキーホルダー登録システム について

大森地域庁舎管内にお住まいの65歳以上の方が対象になります。

SOSキーホルダー登録システムは、あなたが、もし外出先で突然倒れるなど、身元が確認できない状況で救急搬送された際、迅速に身元確認が行えるようにするためのものです。また、認知症の方の徘徊などの際にも身元確認に役立つものです。キーホルダーが目印になり、搬送先病院や警察などが、さわやかサポートへ連絡し、あなたの登録状況を確認することができます。

★ 注意・確認事項 ★

【申込用紙の記入・取り扱いについて】
登録情報は担当さわやかサポートにおいて受付及び管理します。
申し込み者は基本的にご本人又はご家族とします。
情報に変更が生じた場合は、早急にさわやかサポートへご連絡下さい。
緊急連絡先に記入された方には、事前に登録について同意を得ておいて下さい。

【キーホルダーの使用について】
キーホルダーは必ず外出の際は携帯して下さい。
キーホルダーを紛失・破損した場合は、早急にさわやかサポートにご連絡下さい。

【個人情報について】
搬送先病院、さわやかサポート双方が必要と判断した場合、さわやかサポートは、ご本人の同意を得ることなく登録情報を必要機関へ提供します。

連絡先			
	・**入新井出張所管内**にお住まいの方	さわやかサポート入新井	3762－4689
	・**新井宿出張所管内**にお住まいの方	さわやかサポート大森医師会	3772－2415
	・**池上出張所管内**にお住まいの方	さわやかサポート徳持	5748－7202
	・**馬込出張所管内**にお住まいの方	さわやかサポート馬込	5709－8011
	・**大森西1～7丁目**にお住まいの方	さわやかサポート大森	5753－6331
	・**大森中1丁目1～21、2丁目1～12・19～24、3丁目1～5・9～36、大森東1～3丁目、大森本町1丁目9～11、2丁目**にお住まいの方	さわやかサポート平和島	5767－1875



〈表〉

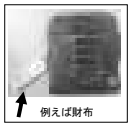
担当さわやかサポートの
連絡先が記載されています。



〈裏〉

本人を確認するための番号
（登録番号）が記載されています。

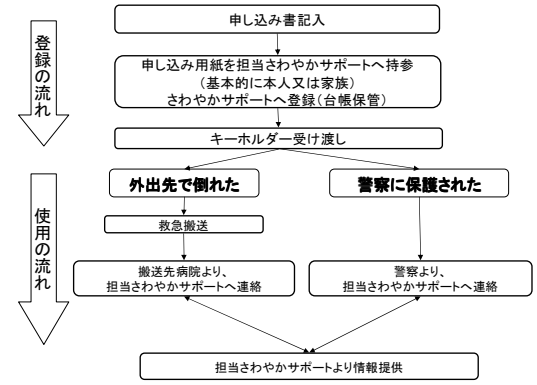

例えば家のカギ


例えば財布


例えば杖


例えばシルバーカー

SOSキーホルダー登録システム 流れ





NHK「おはよう首都圏」放送

「高齢者の情報共有区内全域に！！」

POINT！

・形ができただけでは何の意味も価値もなさない。数が力！！

・当包括支援センターでの1ヶ月の申請目標を決め合う。
・今年度目標！高齢者人口の10%
・数は力！地域の反響の大きさに行政機関も動き出す。

・初動の原動力は私たちの地域の民生委員のみなさん！！

・8月1日申請開始！この時期がちょうど一人暮らし登録のため、民生委員が全戸訪問実施。民生委員協議会に協力を求めに申請書を持っていく。追加でさらに500枚増刷！！

・マスメディアと、行政機関の力を利用・活用！

・みま～も新聞の発行
・大田区報にて区民へシステムの周知
（全区へ広げていく思いも込めて）
・新聞・テレビ等マスコミの利用・活用



2年間の歩みが生み出したみま～も効果！

みま～もに関わることで、自分自身の専門職としてのネットワークが構築できるという実感。

様々に起こる地域活動を、「おおた高齢者見守りネットワーク」が協力！

見守りネットワークが地域の専門職を育てあう場に！
この地域は、専門職の退職率が減少している？？

他職種・地域住民との交流を通して、
自分が働いている専門の価値を知ることができる。
見守りネットワークの会が自然と専門職の
学びの場となっている。
新人職員のネットワーク構築の場として
活用する事業所も・・・。

地域包括支援センター
新規台帳登録件数
平成20年度　270件
↓
平成21年度　410件

「キーホルダー」の
取り組みを通して、本来訪れる
必要のない人が事務所に来て
台帳登録を行っている。

早い段階で地域包括支援センターの存在を知り、早期に専門職が関わることが可能となる！

今後のワクワクするような新たな取り組み、そっと（？）教えちゃいます！！





2年後、私たちの新たな拠点が生まれます！！





名づけて、みま～もモニター！！

その年代だからこそできる事があると思います。
年齢を重ねた皆さんの意見を、住みやすい街づくりに活かしていきませんか？

＊みま～もモニター として、地域の様々な企業や高齢者向け商品などのモニターとして、活動する。
＊世代間交流の機会として、子どもへの絵本の読み聞かせに挑戦！



今後のワクワクするような新たな取り組み、そっと（？）教えちゃいます！PART2

商店街組合と連携して、高齢者が、「いつでも行きたいときにいける！」場所作りに取り組みます！











だれも寄りつかない公園をリハビリができる公園に！
人が寄りつかない通りを、楽しみに訪れることができる場に！！

今後のワクワクするような新たな取り組み、そっと（？）教えちゃいます！PART3

高齢者のための「すまい」を考える！
ー高齢者等居住安定化推進事業ー
「ケア連携型バリアフリー改修体制整備」部門
その名も、
「福老の家！」協議会



選定団体全国で11団体、東京都で1団体。



おおた高齢者見守りネットワークの専門職が、工務店、不動産、オーナー向けに、セミナーを開催。



今後のワクワクするような新たな取り組み、そっと（？）教えちゃいます！PART4

認知症を介護するご家族の支援に対しての、継続的なかかわりを、歯科医師会、医師会、通所系サービス事業所、配食サービス、栄養士、包括と連携し、具体化します。



認知症の食事ケアフェスタ！
12月開催決定！！









私たちが関わっている大都市東京の特性

東京の「弱み」

・急速な高齢化（高齢者人口の増加）。
・都市化（人口集中）により、かつてあった地域の「共助」の低下が加速。
・高齢者の独居や夫婦のみ世帯増加による「自助」の低下。（孤立のおそれ）

東京の「強み」

・豊富な実践力を培った団体など、地域生活を支える人材が豊富。（NPO・ボランティア団体等）
・介護・医療だけではなく、日常生活を支える多様な社会資源が身近に存在。
（商店街・スーパー・コンビニ・交通機関・金融機関等）

私たち専門職が働く大都市都は、社会資源の宝庫！！

すべての団体、人と、つながりあうことが可能なんです！！

地域づくりの方向性

東京の「強み」を活かす。

＝「今ある資源を育て活用」＋「新たな資源を生み出し活用」

大都市東京における「地域の再生」

さわやかサポートを核に、区市町村、介護・医療従事者（専門職）が適切に関与

福祉サービスが必要だが、様々な状況で利用していない人たち

（例）

・引きこもりで、地域から孤立しがちな単身男性

・消費者被害にあっても自覚がない認知症の一人暮らし高齢者

⇩

自力で問題が解決できず、または問題解決能力が不十分

福祉サービスの情報があっても理解や活用が難しい。
家族や友人など身近な人々の手助けが期待できない状態

このような人たちは、
地域で生活している人
にしか見えない。

身近な人でなければ
早期発見が難しい。

介護保険サービスはこのような場合無力です！！

徘徊　本人が歩きたいときに歩きたい所に付き添ってくれますか？

孤独死　孤立して人のつながりがない寂寥感を埋めてくれますか？

介護保険は、
申請をして初めて利用可能なもの。
そして、ケアマネージャーと決めた計画をもとに、定期的に行うサービスです。

虐待　本人だけでなく、家族ぐるみで面倒見てくれますか？

消費者被害　知らない人が訪問してきた場合、ヘルパーを呼ぶことは可能ですか？

私たち、おおた高齢者見守りネットワークに関わっている専門職たちの最終目標！！

SOSの声を、自ら上げられない人たちに、
自分たち専門職の手を
さしのべられるまで・・・・

地域のネットワークづくりへの発想の転換

「自分たち（包括）が構築しなければ・・・」という考えをまず捨てましょう！！
自分たちだけでは背負うことはできない・・・だからネットワークなんです

自分の専門だけでは、高齢者を支えることはできない

⇩

他とつながりあう必要性を自分に持ち合わせる

⇩

「やらなければいけない・・・」ではやらない方がいい。

やるからには、まずは自分自身のために！

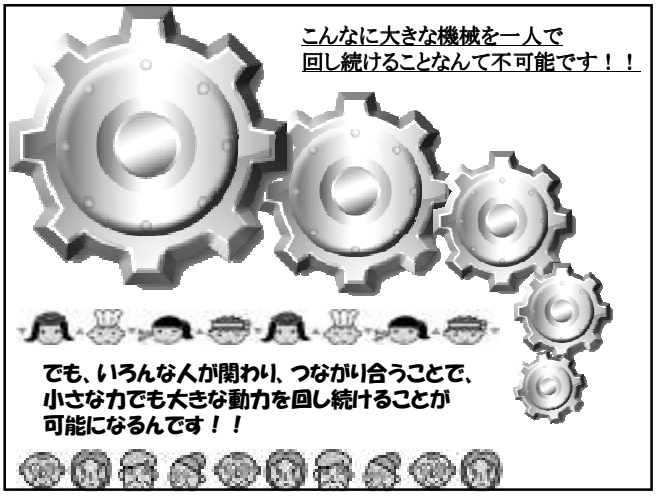
そして、「楽しく、豊かに！」

でなければ続きません！！

自分たちの地域特性に目を向けましょう！

そこにはこの住み慣れた地域で暮らし続けたいと思う人たちがいます。

地域に貢献したいと考えている多くの働く人たちがいます。



「こんなことならできそうだ・・・」

「あの人に協力してもらったら、あんなことができるかもしれない・・・・」

「ひらめいた！！」

今、思い浮かんでいることを、話し合ってみましょう！！

ブログ「地域包括支援センター沢の気の向くまま・感じたまま」
「おおた高齢者見守りネットワーク」の取り組みがタイムリーでご覧になれます。

URL：http://noborisawa.blog121.fc2.com/



地域本来のつながりをこの見守りネットワークでつくりましょう！

最近、「プライバシーの侵害」とか「個人情報の保護」という言葉がよく聞かれる。また、「自己決定・自己責任」ということもよく言われる。確かに、自分のことは自分が一番よくわかっている。「放っておいてくれ！」という気持ちは誰にでもある。プライベートなことまで見られてしまうかもしれない不安は耐えがたいものだ。でも誰かの少しだけの手がさしのべられれば、見える世界が変わる、気持ちも変わる、したいことも変わる、自分のことをもっとよく知ってもらいたくなる、ということもある。

とくに、今のせちがらい社会の中で、弱い位置、弱い立場、不自由な状態、どうにも抜けられないつらい状態に押し込められてしまい、動けないでいる人たちは、誰かが積極的に手をさしのべなければ、そこから抜け出して、違う景色を見ることはできない。そのような人が近くにいるとき、手をさしのべると、自分の幸せも何割か増になる。近くに幸せの火がともれば、その分、自分もあたたかくなる。もしもそのような人たちが、誰かの手を借りて、違う景色を見れるようになれば、今度はその人たちが、他の誰かに手をさしのべることもできるかもしれない・・・。きっと、そうしようと思うだろう。

そのように手をさしのべるとき、手をさしのべなければと思うとき、「プライバシーの侵害」や「個人情報の保護」や「自己決定・自己責任」といった小難しいことは飛ぶ。さしのべた手が気持ちと力を伝え、その手から気持ちと力を受け取る。そして見える景色が、世界が変わる。それをどんどん伝え合う。これ以上に価値のあることはないから、小難しいことは飛ぶ。出過ぎた真似だったら、あやまればいい。そして、また、手をさしのべる。そして、手をさしのべるためには、相手に手が届く距離にいなければならない。手が届く距離にいる人しか、手をさしのべることはできない。手をさしのべることは「地域」でしかできない・・・。

東京弁護士会・日本弁護士連合会高齢者障害者委員会所属・法テラス消費者事件相談員
川崎市知的障害者施設苦情解決第三者委員
大石弁護士事務所　弁護士　　大石　剛一郎